

タイムライン（防災行動計画）作成にあたって

1 タイムラインとは

タイムラインとは、台風や大雪などのように事前に災害規模が想定できる災害（以下「進行型災害(*)」という)に対し、「いつ」、「誰が」、「何を」するのかを、あらかじめ時系列で整理した防災行動計画です。学校においては、台風や大雪のような進行型災害に対し、校外の関係機関や校内の分掌などが連携して対応し、児童生徒の被害を防止するように作成するものです。

各学校ではこれまでも、進行型災害に対して経験により対応してきていますが、タイムラインの作成により「いつ」「誰が」「何を」するのかを明確にし、時系列で「いつ」を決めることで学校が迷う時間をなくし、「誰が」「何を」するかをまとめることで、関係者が連携した、円滑な対応ができるようにします。

*台風などのように事前に災害規模が想定できる災害を「進行型災害」と呼ぶのに対し、地震などのように予想や準備が困難な災害を「突発型災害」と呼ぶ。(「タイムライン(防災行動計画)策定・活用指針(初版)」国土交通省)

① 誰が

状況	Timeline		予想される気象状況 気象予警報 (岐阜気象台)	対応		
	基準時間			校長・教頭	情報収集担当者	教務部
② いつ 台風接近	-36h	9/19 9:00		担当者に情報収集を指示	気象庁のHP等で情報収集・確認	
	-28h	14:00		明日の授業実施有無の判断 翌朝職員朝会実施		明日の授業実施有無の判断
	-24h	18:00		明日の日課の判断		明日の日課の判断
	-30h	9/20 8:00	強風注意報	職員朝会 対応速報		通学路安全確認
	-5h	10:00	強風注意報	10:45授業打切り 帰宅指示		通学路の状況で情報収集・確認 下校指導
	-6h	12:00	暴風警報発表 大雨警報	帰宅困難生徒の対応		帰宅困難生徒の対応
	-4h	14:00	暴風警報	職員の学校待機指示		学校安全課へ対応速報 帰宅困難生徒の対応
	-2h	16:00	大雨警報	交通機関、道路状況確認 職員の帰宅指示		交通機関の状況で情報収集・確認
	-0h	18:00	記録的短時間大雨情報 大雨特別警報 洪水警報			
	+2h	20:00	土砂災害特別警報 洪水警報 暴風警報			
③ 何を 台風通過	+4h	22:00	洪水警報			
	+11	9/21 7:00			気象庁のHP等で情報収集・確認	交通機関運行状況の確認 通学路の安全確認
	+12~	9/21 8:00		生徒の登校・学校の被害状況把握	気象庁のHP等で情報収集・確認	職員朝会 学校の被害状況調査

2 タイムライン作成の手順

タイムラインは、台風や大雪などの進行型災害ごとに次の手順で作成します。

① 担当者の記載（誰が）

対応する担当を確定します。校務分掌等ではほぼ決定しますが、予想される災害の規模に合わせた対応が必要です。

② 時間の記載（いつ）

ア 警報発表・解除の時刻の想定

気象情報等により、台風の最接近など最も危険な時間帯を基準に、気象条件により、暴風警報、大雨警報などが出される時間を想定します。気象警報は、警報が住民等に伝わって避難行動などがとられるまでに要する時間（猶予時間（リードタイム））を考慮して、予想される現象が発生する3～6時間前に発表されます。進行型災害の規模によって警報発表時刻の幅がありますので、気象情報の収集に努める必要があります。

イ 日課の決定

始業前であれば気象警報の解除後の登校時刻を設定し、始業後であれば警報発表前の下校時刻を設定します。その際には登下校に要する時間や公共交通機関の運行状況等を考慮します。

また、登校後の日課または下校までの日課を決定します。

③ 担当者の行動の記載（何を）

校務分掌等の行動等を時間軸に従って記載します。生徒の居住地や通学地域の天候や被害状況、交通機関等の確認、生徒・保護者へのメール配信、登下校の指導などをいつ誰が行うかを明確にします。

④ タイムライン最終案の決定

上記の項目を記載したタイムラインをチェックし、重複、漏れがないか確認します。

⑤ タイムライン決定後の対応

気象情報の精度が高まっているものの、例えば台風の場合、進路やスピードなど刻々と変化します。気象情報の収集に努め、作成したタイムラインをもとに早期対応ができるようにします。

3 タイムラインのふりかえり

気象警報等への対応後、策定したタイムラインのふりかえり（検証）を行い、「やるべきであったのにできなかったこと」「やっておけばよかったこと」などを抽出し、次のタ

タイムライン作成に反映させることが重要です。

また、タイムラインは確定的なものではなく、災害をもたらす気象現象の規模により対応を変えていかなければならないものです。例えば台風の場合、暴風のみでの対応ではなく、台風の接近に伴う豪雨へも注意する必要がありますし、またスーパー台風と呼ばれる巨大な台風の出現が危惧されており、様々なケースを想定した対応が求められます。最新の気象情報の入手に努め、早期の適切な対応ができるようにする必要があります。

4 その他

タイムラインを作成する前段階として、普段から次のような準備をしておくことが大切です。

- ・最も遠くから通学する生徒の把握（登下校にどれくらい時間がかかるか）
- ・携帯電話やスマートフォンなどのメールアドレスを変更していないかの確認（生徒保護者とも「すぐメール」を確実に受信できるようにしておく）
- ・公共交通機関、道路の状況の確認
- ・通勤通学時間外の公共交通機関の運行状況（一度に複数校が下校することになった場合、バスなどに乗車できない可能性がある）
- ・命を守る訓練と関連づけたタイムラインの作成訓練の実施

5 資料

- ・タイムライン様式例
- ・タイムライン例（台風・大雪）

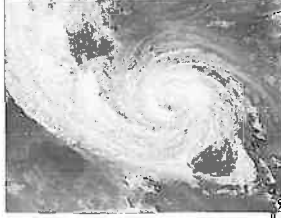
【参考】

- ・「タイムライン（防災行動計画）策定・活用指針（初版）」（平成28年8月 国土交通省）
- ・「タイムライン作成の手引き」（平成28年3月 山口県）

台風例

〇〇高校 台風16号に対するタイムライン(例)

台風16号の状況: 平成28年9月19日午前9時現在 沖繩の北 945hPa 岐阜県を直撃する可能性大 強い台風であるが、強風の範囲は狭い。
 岐阜県最接近は9/20 18:00ごろ
 暴風警報の発表予測: 岐阜県に最接近する18:00の6時間前(12:00頃)に暴風警報が発表されると想定し対応。
 岐阜県上空にある秋雨前線は、気象庁の情報によると南下することが予想されるため、県内の大雨の可能性は低い。
 通学で最遠の生徒は、バスとJRで1時間20分、最寄り駅から徒歩で15分を要するため、2時間あれば帰宅できる。



状況	Timeline 基準時間	対応								
		予想される気象状況 気象予警報 (岐阜気象台)	校長・教頭	情報収集担当者	教務部	生徒指導部 ・環境整備部	学年会	担任		
台風接近	-36h 9/19 9:00		担当者に情報収集を指示	気象庁のHP等で情報収集・確認						
	-28h 14:00		明日の授業実施有無の判断 翌朝職員朝会実施の連絡		明日の授業ついて生徒へ連絡					最遠生徒の確認 生徒保護者のメールアドレスの変更がないか確認
	-24h 18:00		明日の日課の判断			非常食等の確認 学校周辺(側溝等)の確認				
	-10h 9/20 8:00	強風注意報	職員朝会 対応連絡			通学路安全確認				
	-8h 10:00	強風注意報	10:45授業打ち切り 帰宅指示	気象庁のHP等で情報収集・確認		下校指導	下校指導	下校指導	下校指導	下校指導
	-6h 12:00	暴風警報発表 大雨警報	帰宅困難生徒の把握 帰宅困難生徒の対応		交通機関運行状況の確認 保護者・生徒宛て帰宅確認メール発出	下校指導 校内防災の確認 校内戸締り確認	帰宅確認情報集約 管理職へ報告	帰宅確認 未返信者に電話確認 学校待機生徒の把握	メール返信等による帰宅確認 未返信者に電話確認 学校待機生徒の把握	
	-4h 14:00	暴風警報	職員の学校待機者の指示		学校安全課メール送信	校内戸締り確認		学校待機生徒の引き渡し対応		
	-2h 16:00	大雨警報	交通機関、道路状況確認 職員の帰宅指示	気象庁のHP等で情報収集・確認						
	-0h 18:00	記録的短時間大雨情報 大雨特別警報 洪水警報								
	+2h 20:00	土砂災害特別警報 洪水警報 暴風警報								
+4h 22:00	洪水警報									
+11 9/21 7:00				気象庁のHP等で情報収集・確認	交通機関運行状況の確認	通学路の安全確認				
+12~ 9/21 8:00		生徒の登校・学校の被害状況把握	気象庁のHP等で情報収集・確認	職員朝会	学校の被害状況調査				生徒の登校確認	

大雪例

〇〇高校 大雪に対するタイムライン(例)

大雪の状況:平成26年12月17日 北海道の東で低気圧が発達して、強い冬の気圧配置となった。岐阜県では17日から18日の夕方にかけて山

地を中心に大雪となり、平野部でも積雪の可能性がある。

12/17 夕刻前より激しい積雪になるとの予報から、早ければ11:00に大雪警報が出るものと仮定して対応

(実際の発表:大雪警報発表 12/17 10:35 高山市、郡上市 16:40 山県市、本巣市、揖斐川町、関市、白川村)

(実際の積雪:12/17高山市71cm 12/18飛騨市河台148cm、郡上市長滝144cm、岐阜市15cm)

状況	Timeline	予想される気象状況 気象予警報 (岐阜気象台)	校長・教頭	情報収集担当者	教務部	生徒指導部 ・環境整備部	学年会	担任
積雪	-30h	12/16 9:00	担当者に情報収集を指示	気象庁のHP等で情報収集・確認				
	-26h	13:00	明日の授業実施有無の判断 翌朝職員朝会実施の連絡		明日の授業について生徒に連絡	非常食の確認 防寒具の確認 除雪用具の準備		最遠生徒の確認 保護者メールアドレス 変更の確認
	-24h	15:00	明日の日課の判断 臨時職員終会					
	-9h	12/17 6:00	大雪注意報					
	-8h	7:00	当日の日課の決定	情報収集・確認		通学路安全確認		
	-7h	8:00	職員朝会 対応連絡					当日の日課の確認 メールアドレス変更の 確認
	-6h	9:00	明日の日課の決定					
	-5h	10:00	10:45授業打ち切り 帰宅指示		交通機関運行状況の確認 保護者・生徒宛て 帰宅確認メール配信 (明日の日程も含む) 学校安全課メール返信			
	-4h	11:00	大雪警報発表					
	-3h	12:00	帰宅困難生徒の把握 帰宅困難生徒の対応 職員の学校待機者の指示 帰宅困難生徒の対応				下校指導 帰宅確認情報 集約 管理職へ報告	メール返信等による帰 宅確認 未返信者に電話確認 学校待機生徒の把握
	-2h	13:00	交通機関・道路状況確認 職員の帰宅許可			校内防災の確認 校内戸締り確認		学校待機生徒の引き渡 し対応
	-1h	14:00	大雪警報	情報収集・確認				
	-0h	15:00	大雪による混乱の始まり					
	+2h	17:00	大雪警報	情報収集・確認		校内戸締り最終確認		
	+15h	12/18 6:00	気象情報、交通情報の確認 当日の日課判断					
	+21h	12:00	大雪警報解除	職員朝会 職員宅被害状況確認 学校被害状況 教育委員会に報告	学校安全課メール返信	学校の被害状況調査 交通状況確認		
	+42h	12/19 9:00	なだれ注意報	生徒宅被害状況把握	情報収集・確認	通学路安全確認	被害情報集約・ 報告	生徒の登校確認 生徒宅被害状況確認

対応